

本日(11月6日)の弊社設定ファンドの基準価額の下落について

平素は弊社のファンドに格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社で設定・運用しております公募投資信託のうち、下記のファンドについて本日11月6日の基準価額が5%を越す下落となりましたので、お知らせいたします。

【基準価額が5%超下落した弊社ファンド】

本日(11月6日)、基準価額の下落率が5%を超えた公募ファンドは以下の通りです。

ファンド名	基準価額 (11/5)	基準価額 (11/6)	変化率
アイエヌジー・海外株式オープン	6,532 円	6,195 円	-5.16%
アイエヌジー・日本株式オープン	3,966 円	3,729 円	-5.98%

【主要株価指数の動向】

株価指数(※)	11月4日終値	11月5日終値	変化率
ダウ工業株 30 種平均(米国)	9,625.28	9,139.27	-5.05%
FT100 指数(英国)	4,639.50	4,530.73	-2.34%
DAX 指数(ドイツ)	5,278.04	5,166.87	-2.11%
CAC40 指数(フランス)	3,691.09	3,618.11	-1.98%
TOPIX(東証株価指数)	966.91	889.23	-5.96%

※海外の株価指数は11月5日と11月6日の基準価額計算に対応する現地日付の終値です。なお、TOPIXは11月5日と11月6日の終値を表示しています。

(出所)ブルームバーグ

【為替レートの動向】

為替レート	11月5日の評価値	11月6日の評価値	変化率
ドル/円	99.77	98.14	-1.63%
ユーロ/円	129.28	126.67	-2.02%
英ポンド/円	159.07	155.78	-2.07%
豪ドル/円	69.43	66.66	-3.99%

※為替レートは投資信託協会公表の評価レートを表示しています。

(出所)ブルームバーグ

【基準価額下落の要因】

当該ファンドの基準価額が下落した主な要因のうち、海外の株式を実質的な主要投資対象とするファンドの場合は海外の株式市場の下落と主要通貨に対する円高、日本の株式を実質的な主要投資対象とするファンドの場合は日本の株式市場の下落となっております。

【海外株式】

11月5日の欧州の株式市場は、企業業績見通しの下方修正が相次いで発表されたことを受けて失望感が広がり、各国の主要株式指数は下落しました。中でも鉄鋼大手のアルセロール・ミタルは、市場予想を下回る第3四半期の決算と大幅な生産の縮小見通しが嫌気されて16%を越す下落となりました。また、米大統領選におけるオバマ氏の勝利を受け、医薬品価格の引き下げ政策が取られるとの懸念から、米国市場の依存度が高い医薬品株が下落を主導しました。

主要指数は、英国のFT100指数が2.34%、フランスのCAC40指数が1.98%、ドイツのDAX指数が2.11%の下落となりました。

米国株式市場では、10月のIMS非製造業景況指数が拡大と縮小の分岐点である50を下回って44.4と調査開始以来の最低水準に低下したことや、10月の民間部門雇用者数が大幅に減少したことが発表されて弱い経済指標に関心が集まりました。次期政権による景気刺激策も景気の悪化を回避するには十分ではないという懸念が広がって前日までの上昇基調から大幅に反落。ダウ工業株30種平均は5.05%の下落となりました。

【日本株式】

本日(11月6日)の東京株式市場は、米国の新大統領による経済政策への期待を織り込んで急上昇した昨日から一転して景気悪化懸念が再び広がり、大幅な反落となりました。10月27日につけたバブル崩壊後の最安値から昨日までに30%前後急伸したものの、短期的な過熱感に加え、鉄鋼世界最大手のアルセロール・ミタルが大幅減産を発表したことや米国の大手通信機器メーカーであるシスコシステムズの決算発表が振るわなかったことも弱気材料となりました。また、為替が再び円高にふれたことから、自動車や家電製品といった輸出関連企業が下落を主導しました。

TOPIXは5.96%下落して909.30、日経平均株価は6.53%下落して8,899円14銭となりました。

【外国為替市場】

外国為替市場では、株式市場の欧米株式市場の下落からリスクを回避する姿勢が再び強まり、再び円高の動きとなりました。米ドルは比較的しっかりしていたものの、イングランド銀行(英中央銀行)や欧州中央銀行の政策決定会合を前にして、利下げ観測から英ポンドやユーロの下落率が大きくなりました。

以上

以下の記載は、金融商品取引法第37条により表示が義務付けられている事項です。お客様が実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。

投資信託に関する留意事項

●投資信託にかかるリスクについて

投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって、投資家の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、これを割込むことがあります。

投資信託はファンド毎に投資対象資産の種類や投資対象国、投資制限等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。お申込みの際には、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。

●投資信託にかかる費用について

(投資信託のご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。)

■お申込時に直接ご負担いただく費用

お申込手数料 お買付金額に対して最大 3.15% (税抜き 3.0%)

■ご換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額 ご換金時の基準価額に対して最大 0.3%

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬 純資産総額に対して最大年率 1.89% (税抜き 1.8%)

■その他費用として、上記以外に保有期間等に応じて信託財産からご負担いただく費用があります。

●投資信託は預金等や保険契約と異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

●銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

【ご注意】

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アイエヌジー投信株式会社が運用するすべての追加型公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最大の料率を記載しております。

投資信託のリスクならびに費用の詳細につきましては、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。